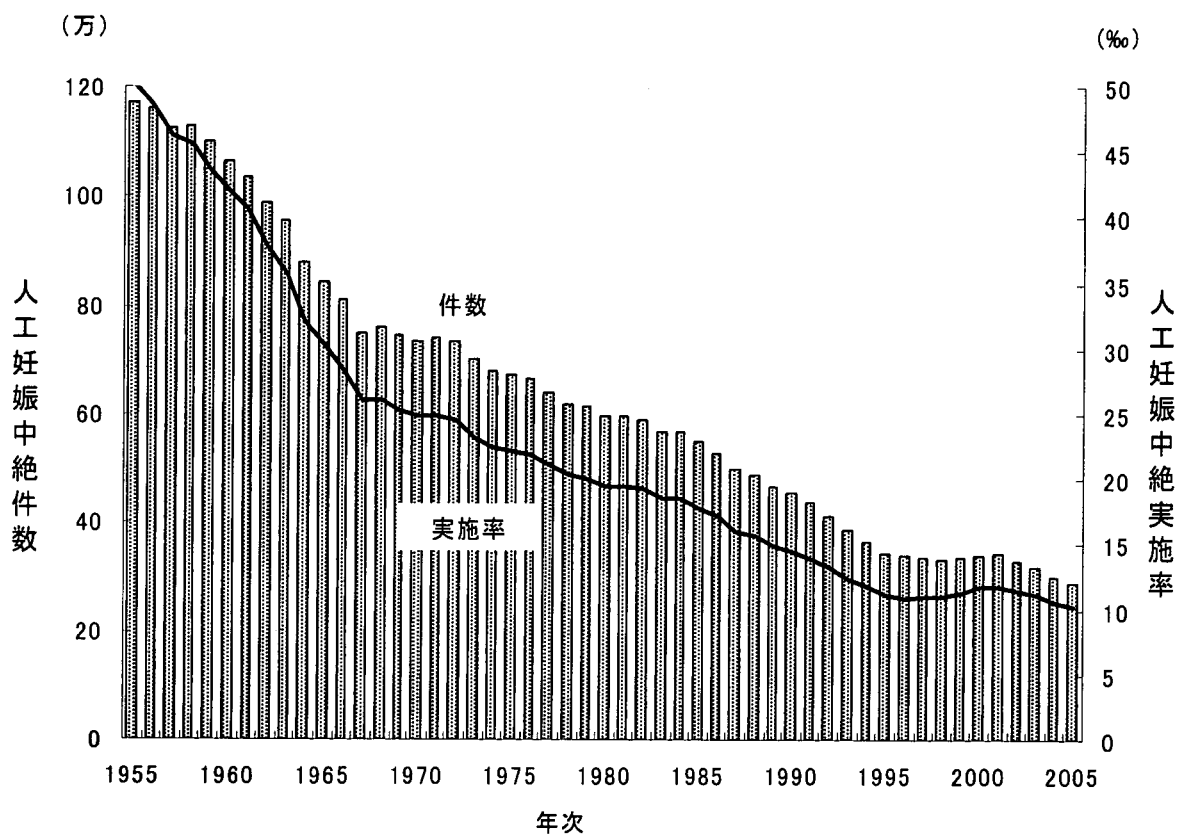
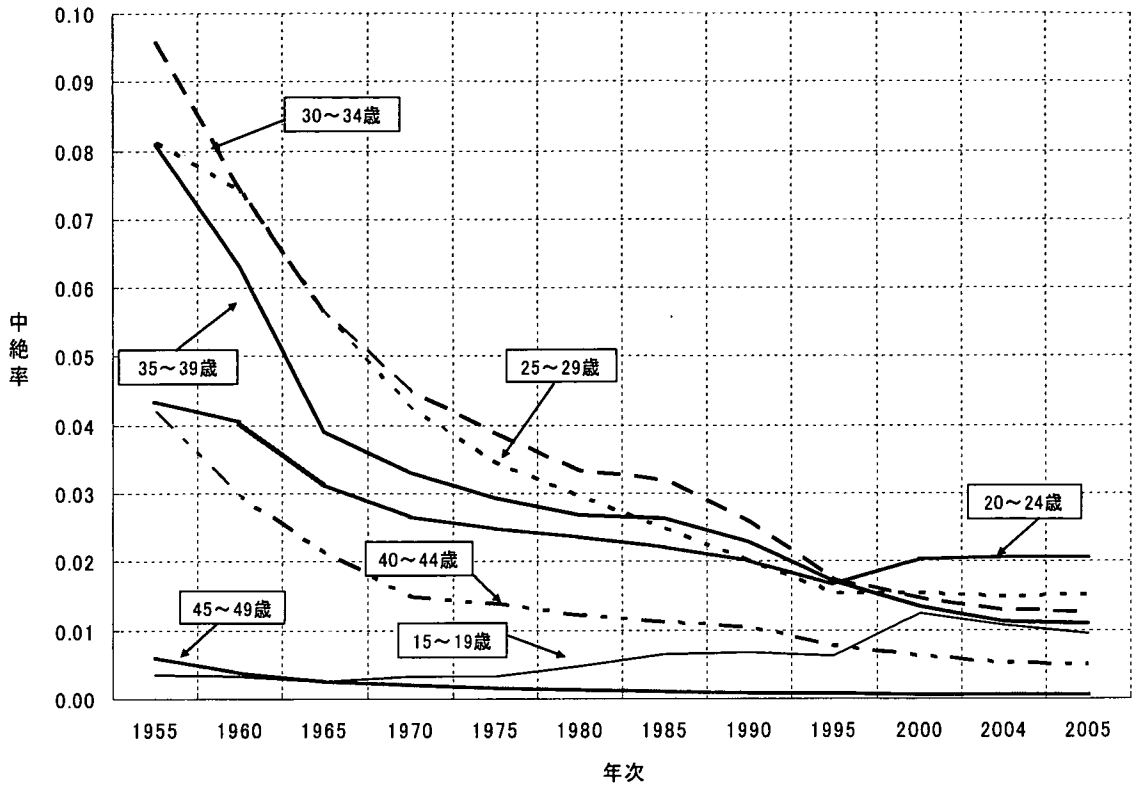


図1 人工妊娠中絶数の件数と実施率：1955～2005年



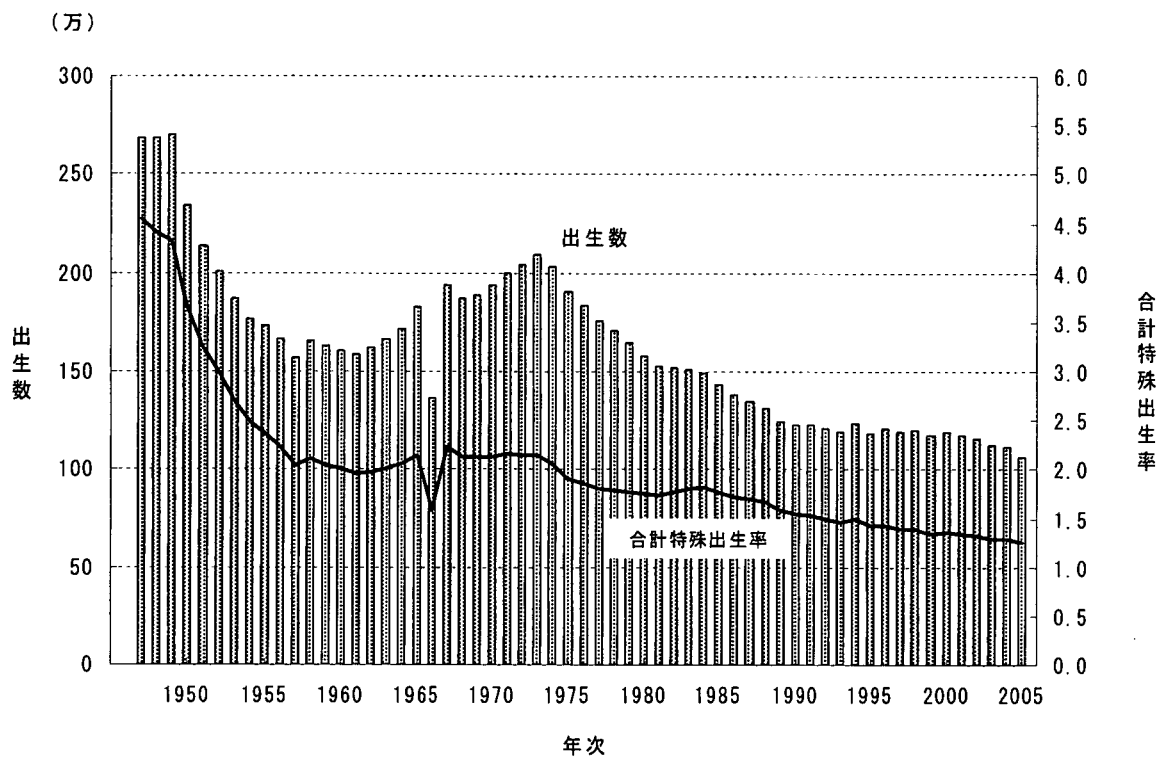
出所：厚生労働省統計情報部『優生保護統計』、『母体保護統計』、『衛生行政報告例』（各年）より作成。

図2 年齢(5歳階級)別中絶率:1955~2005年



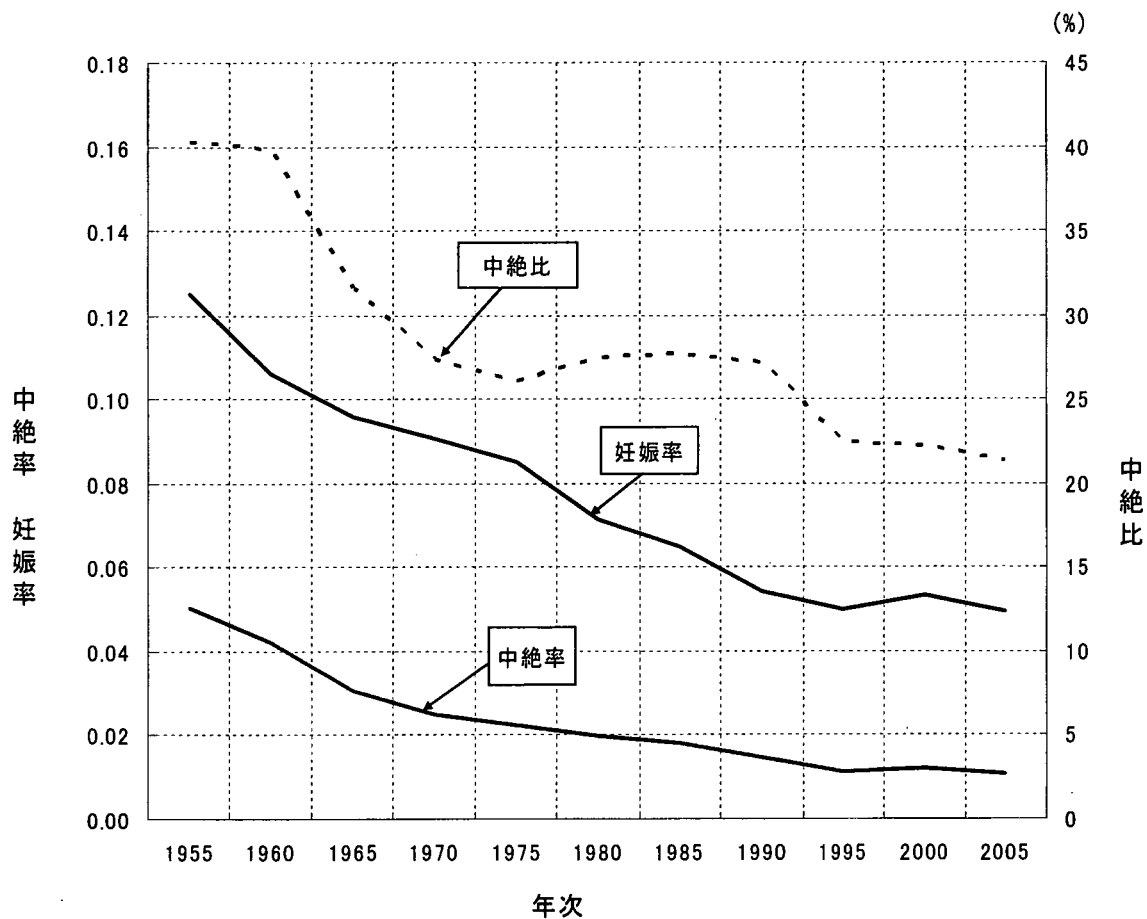
出所:厚生労働省統計情報部『優生保護統計』、『母体保護統計』、『衛生行政報告例』(各年)より作成.

図3 出生数と合計特殊出生率：1947～2005年



出所：厚生労働省統計情報部『人口動態統計』、国立社会保障・人口問題研究所『人口問題研究』（各年）より作成。

図4 中絶率、妊娠率、中絶比の推移：1955～2005年



注：各指標は以下の計算式による。

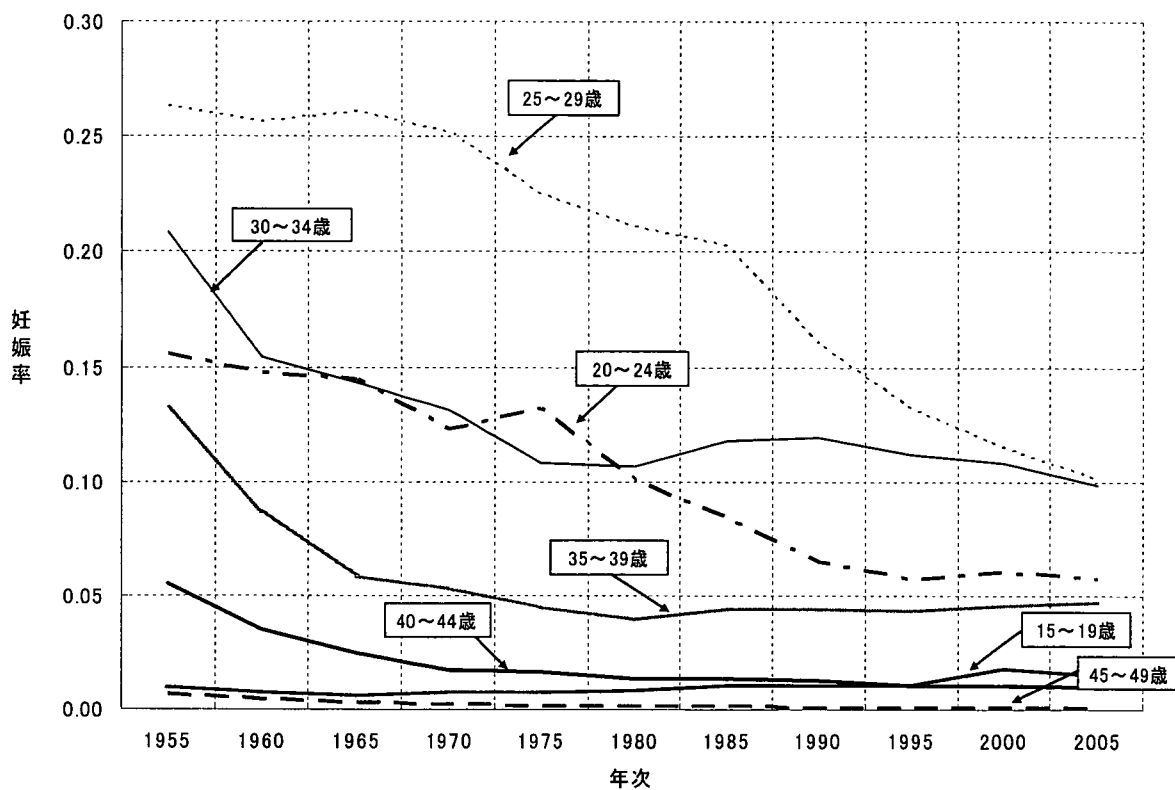
中絶率 = 人工妊娠中絶数 / 満15～49歳女性人口

妊娠率 = 妊娠数 / 満15～49歳女性人口

＝ (出生数 + 人工妊娠中絶数) / 満15～49歳女性人口

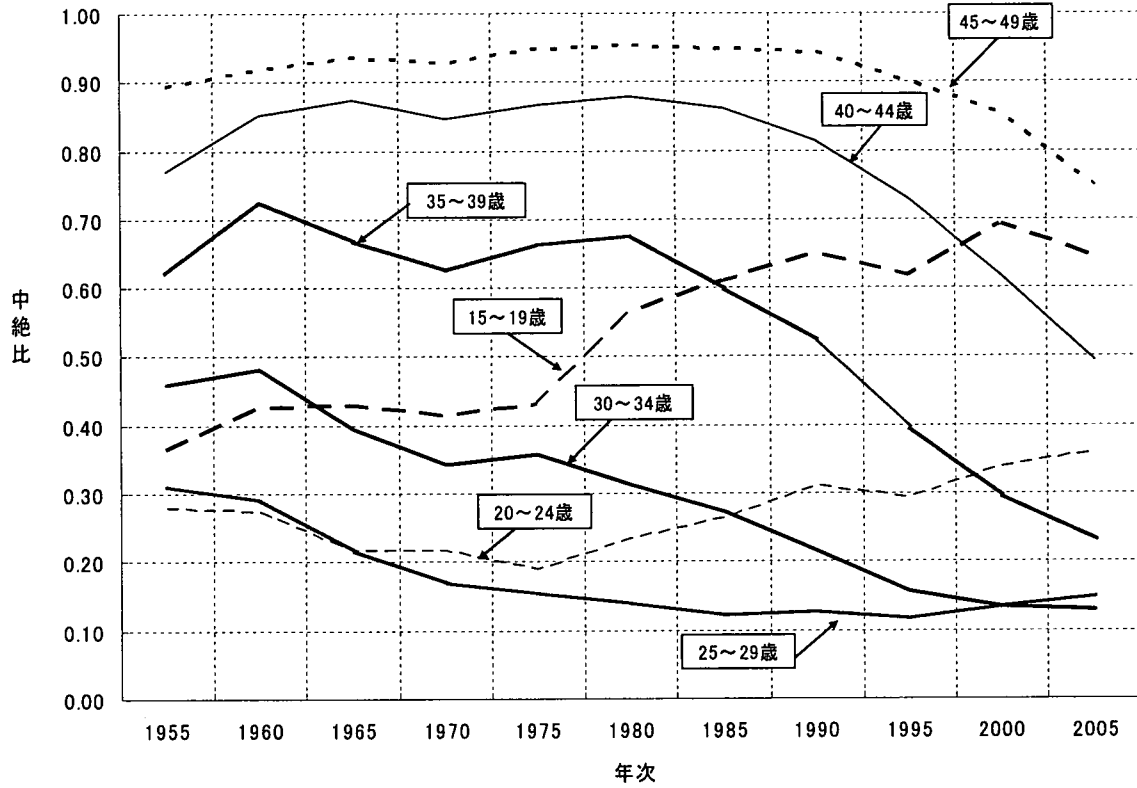
中絶比 = 人工妊娠中絶数 / 妊娠数

図5 年齢(5歳階級)別妊娠率:1955~2005年



注:年齢階級別妊娠率は、女性の各年齢階級の妊娠数(出生数と人工妊娠中絶数の和)をその年齢階級の女性人口で除して求めた。

図6 年齢(5歳階級)別中絶比:1955~2005年



注:年齢階級別中絶比は、女性の年齢階級別の人工妊娠中絶数をその年齢階級の妊娠数(出生数と人工妊娠中絶数)の和で除して求めた。

図7 中絶率低下の要素分解（1955～2005年）

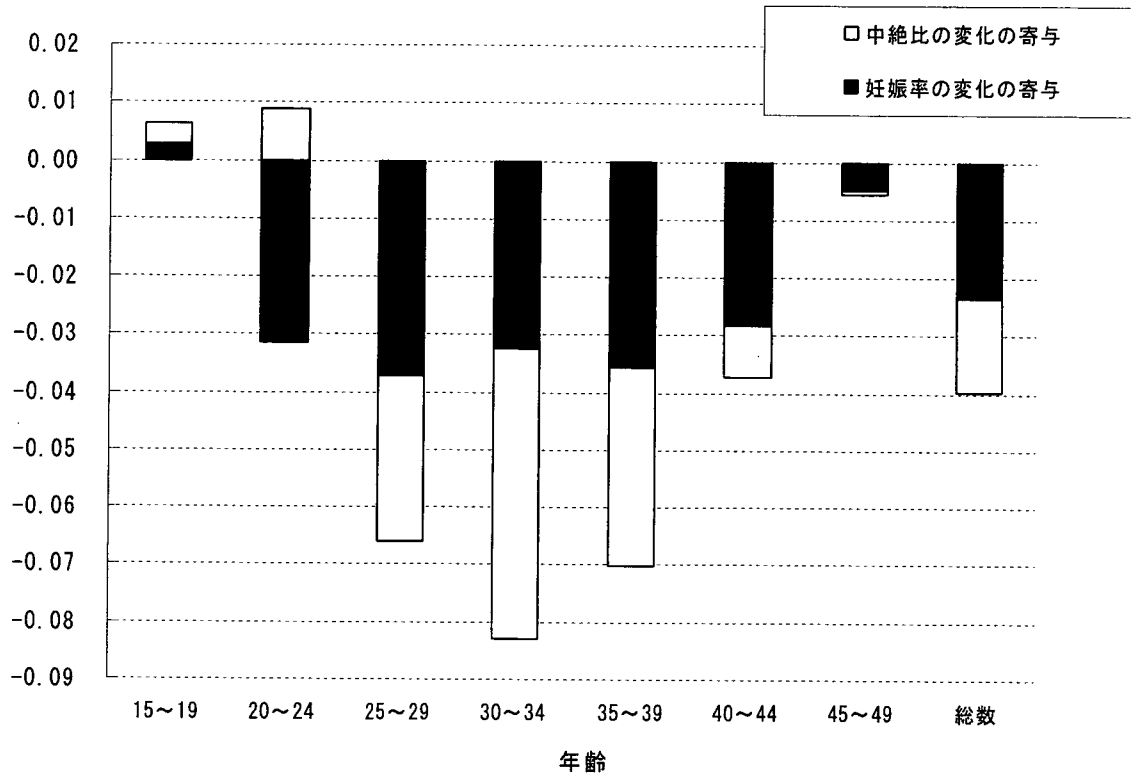


図8 中絶率低下の要素分解 (1955~1975年)

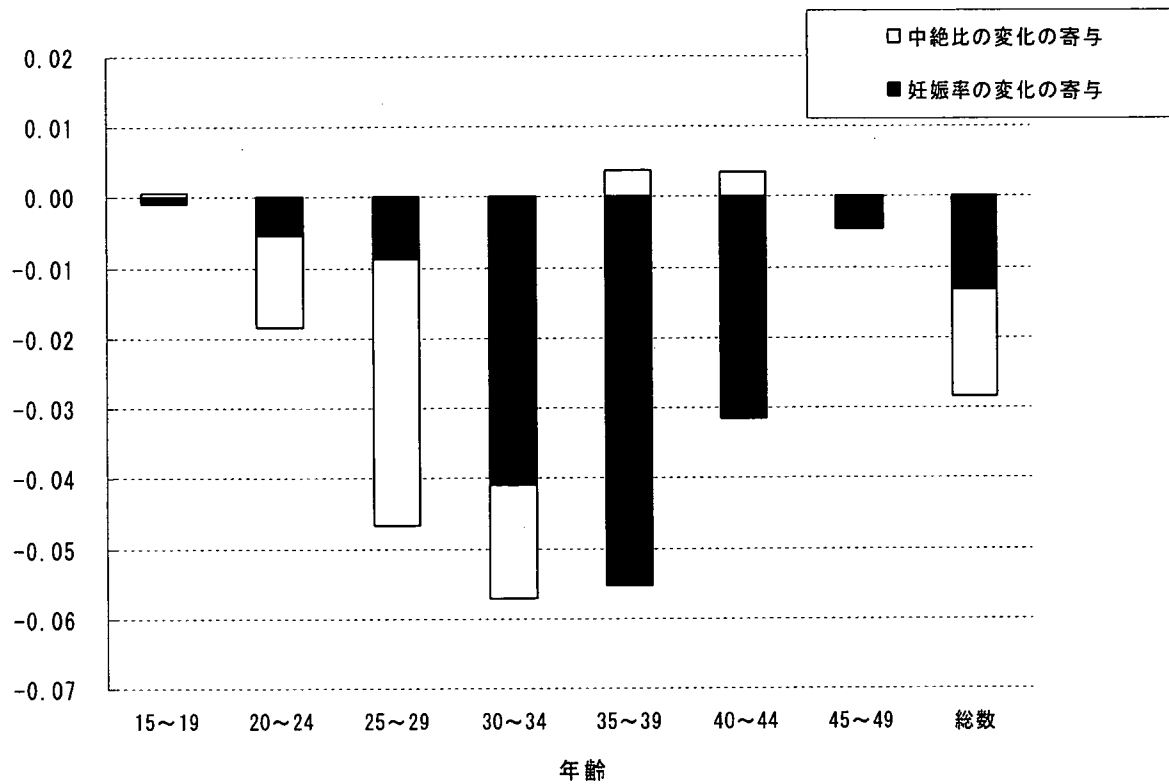


図9 中絶率低下の要素分解（1975～2005年）

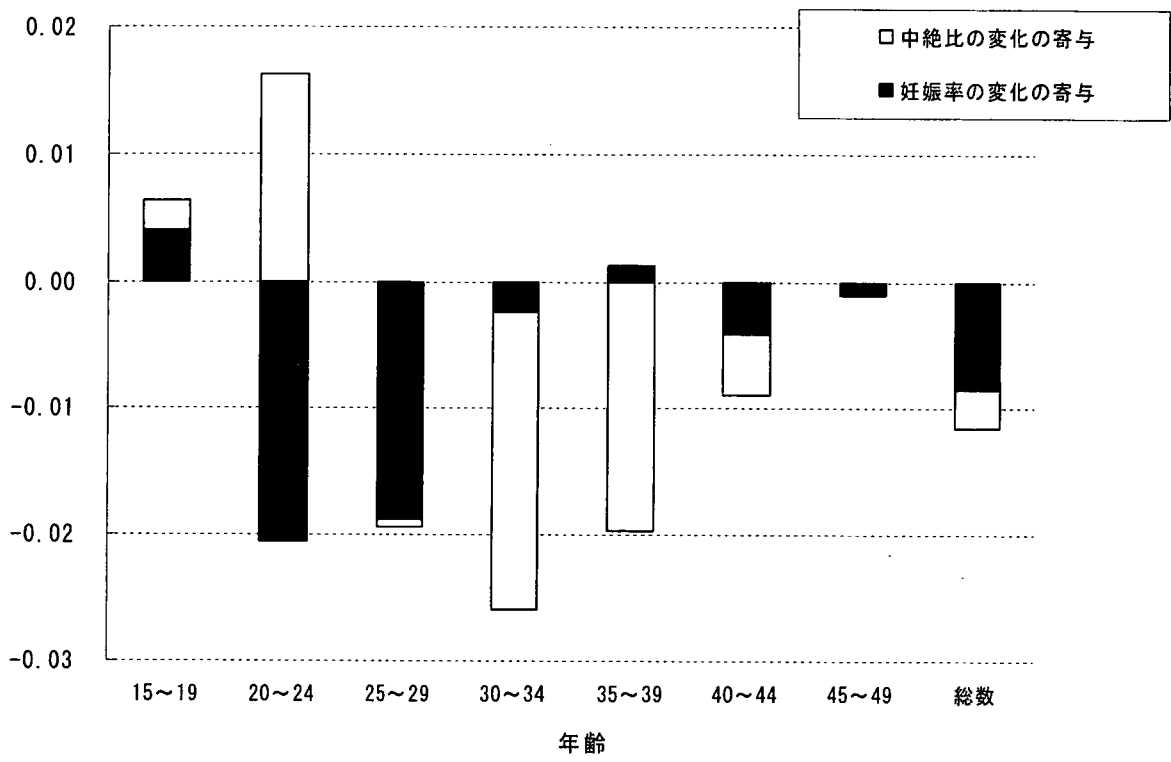
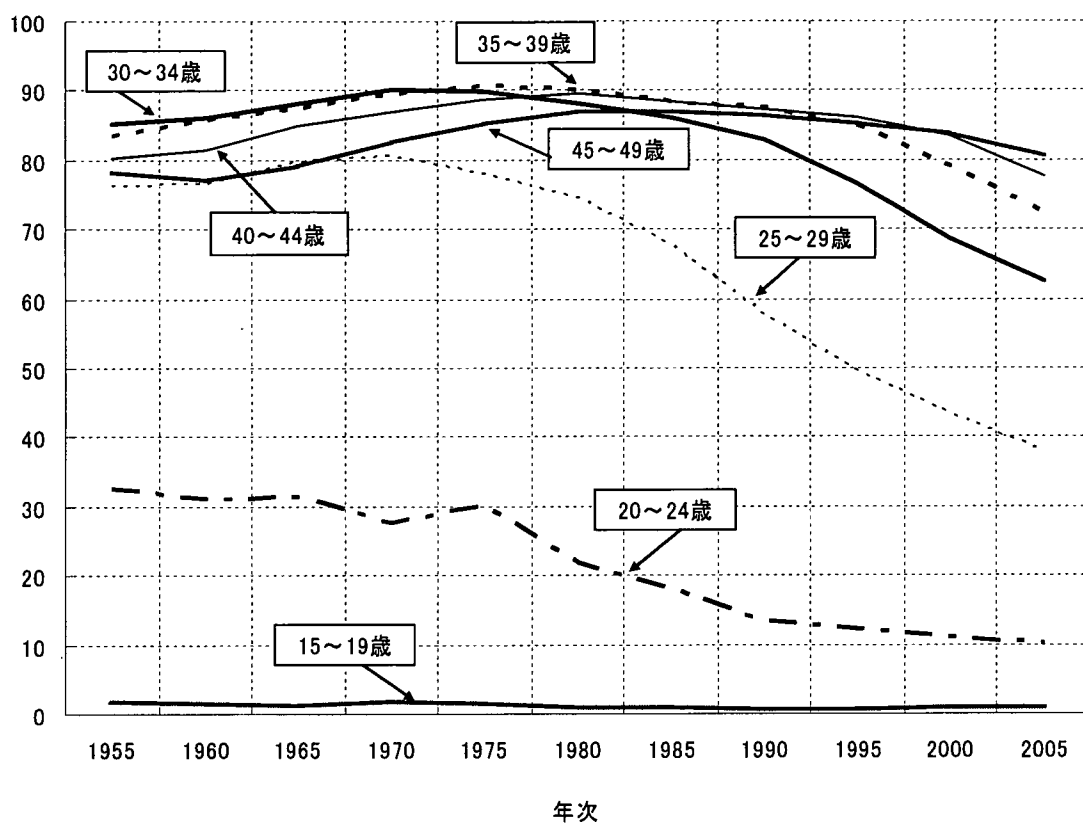


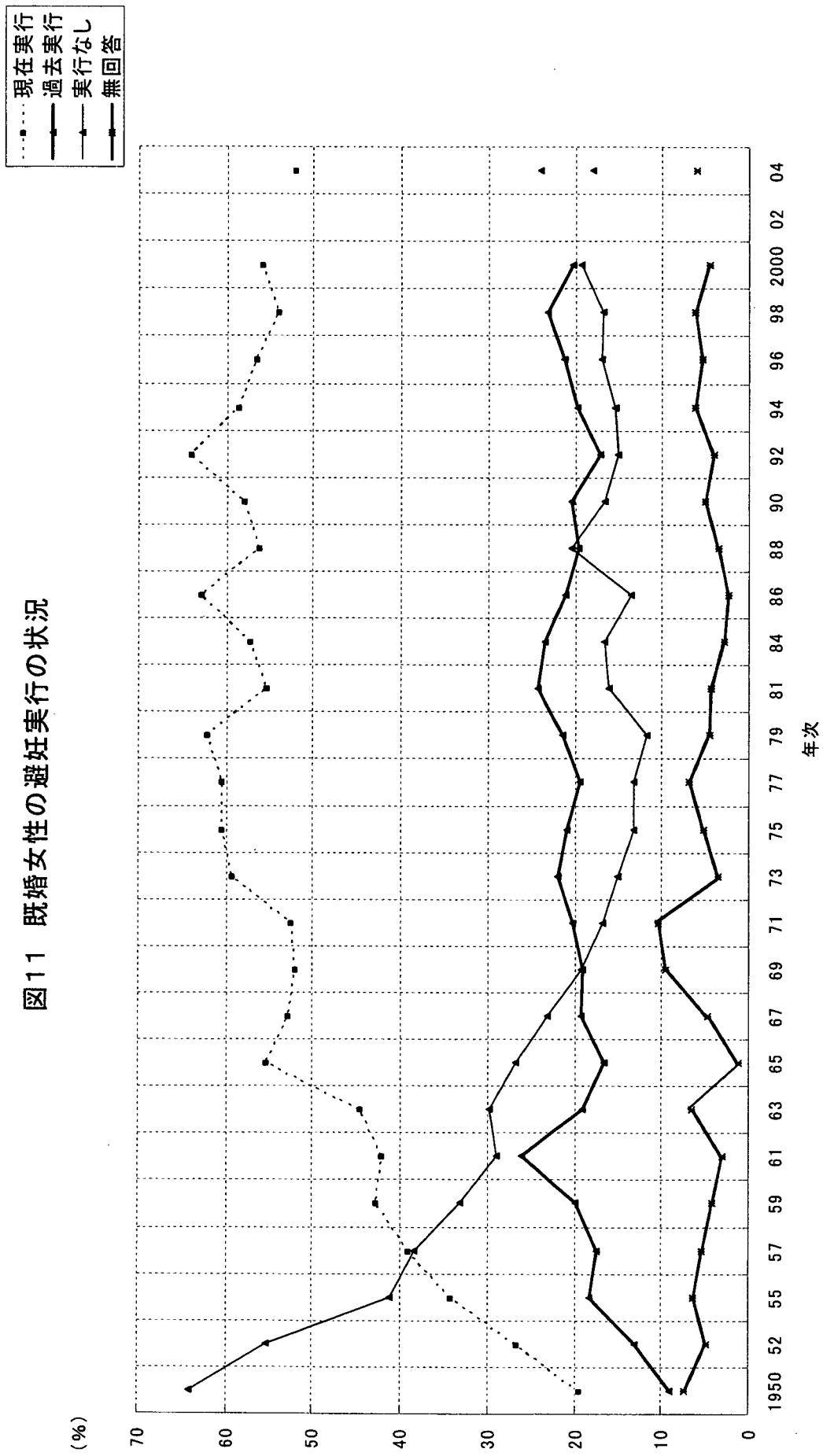
図10 年齢(5歳階級)別女性の有配偶割合:1955~2005年

(%)



出所:総務省統計局『国勢調査報告』(各年)より作成.

図11 既婚女性の避妊実行の状況



出所：毎日新聞社人口問題調査会『第1回～第25回全国家族計画世論調査』(1950～2000年)、『第1回人口・家族・世代世論調査』(2004年)より作成。
 注：対象者は16歳以上50歳未満の既婚女性。

図12 避妊を行っている既婚女性の避妊方法

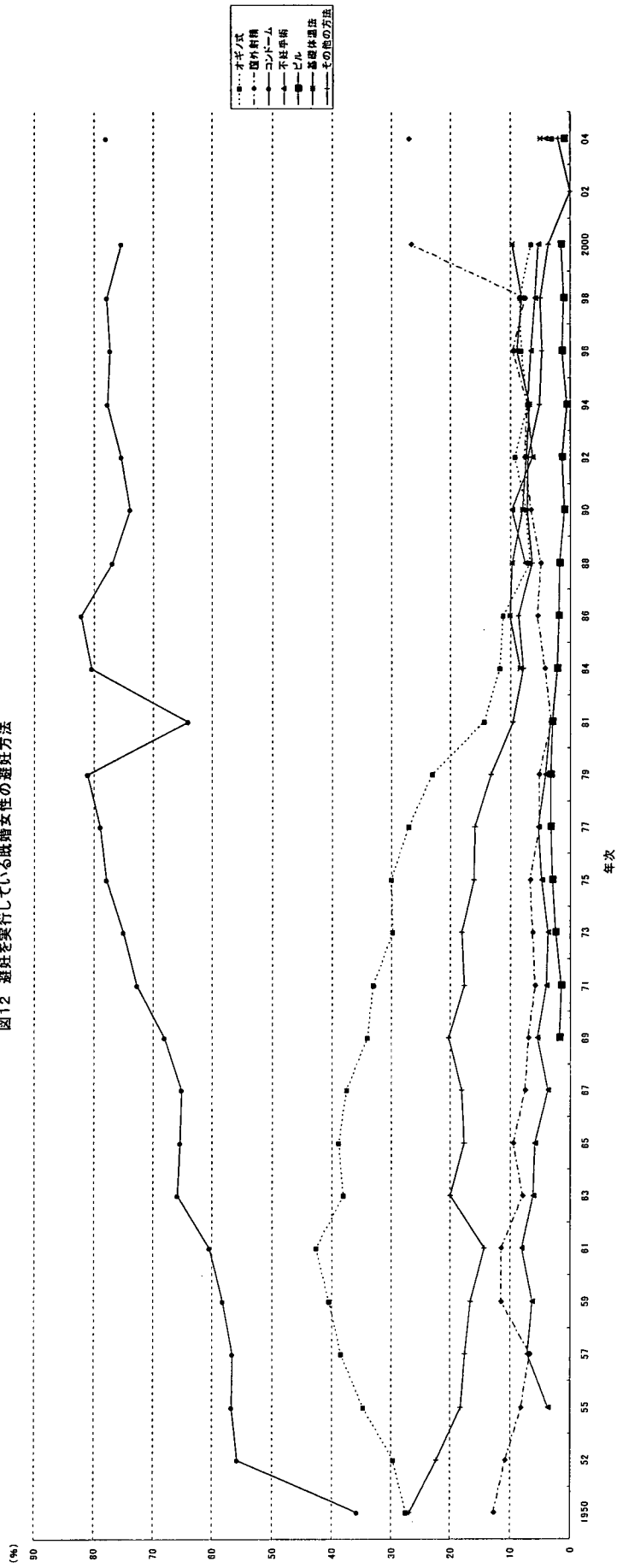
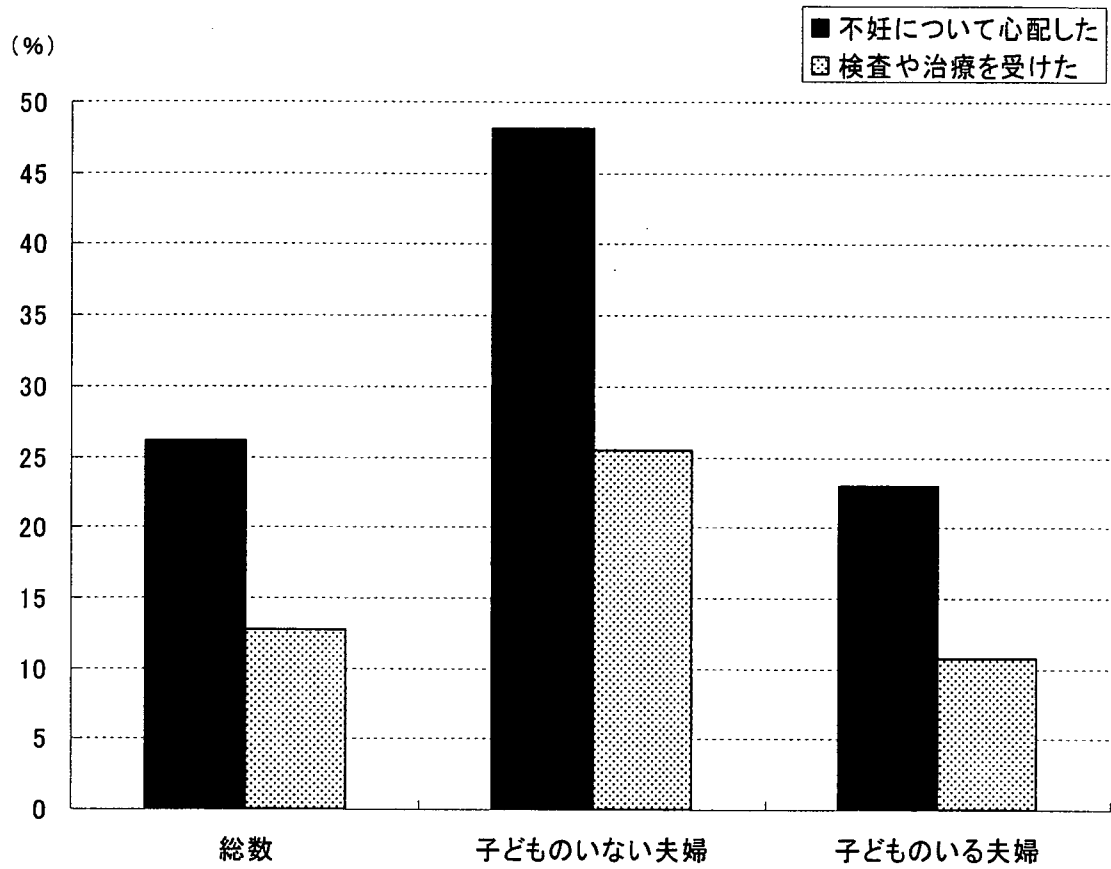
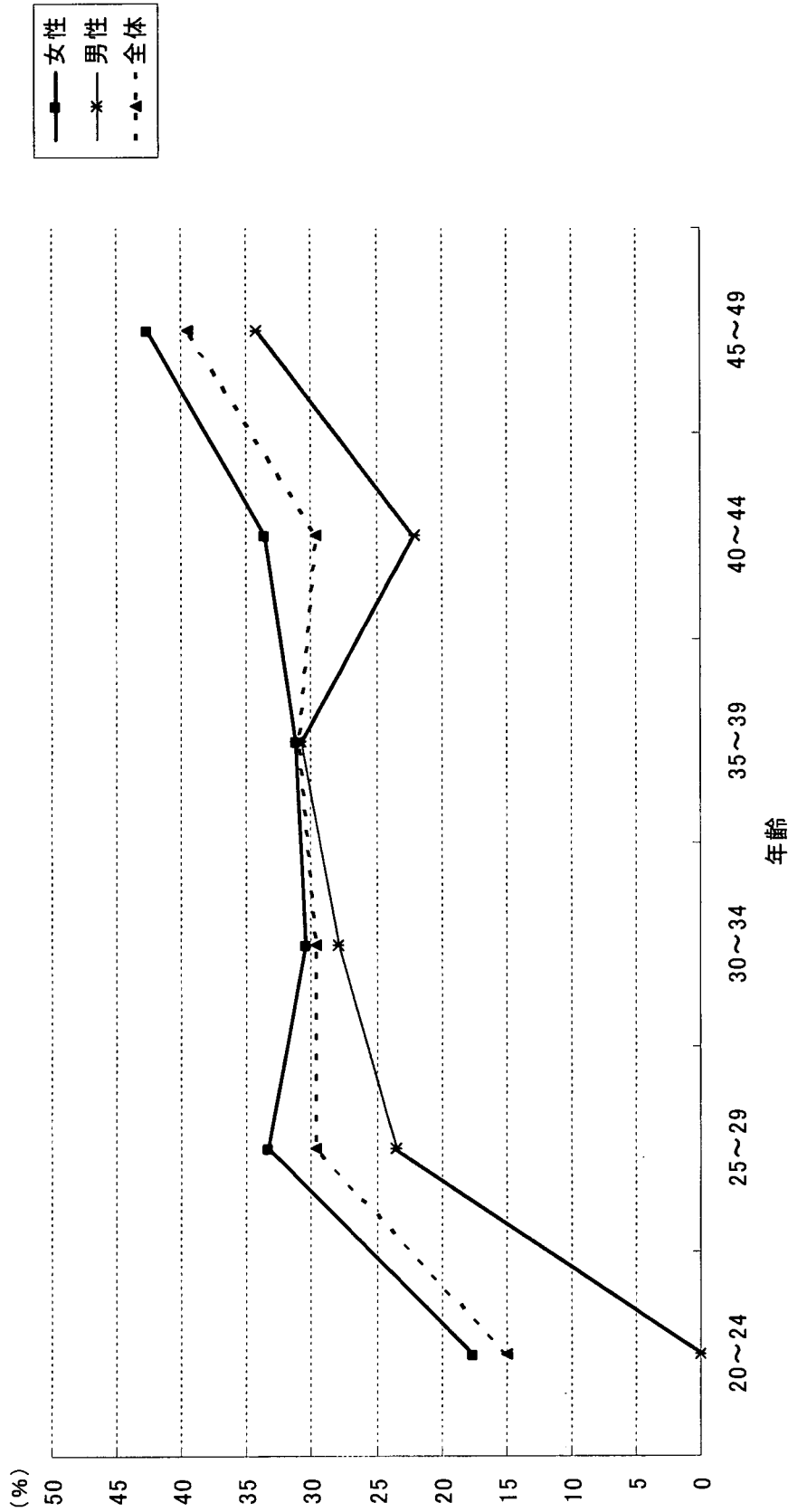


図13 不妊について心配したことのある夫婦の割合



出所：国立社会保障・人口問題研究所『第12回出生動向基本調査』(2002年)より作成。
注：対象は妻の年齢が50歳未満の初婚どうしの夫婦。

図14 既婚者のセックスレス割合



出所：『第2回男女の生活と意識に関する調査』(2004年)より作成。

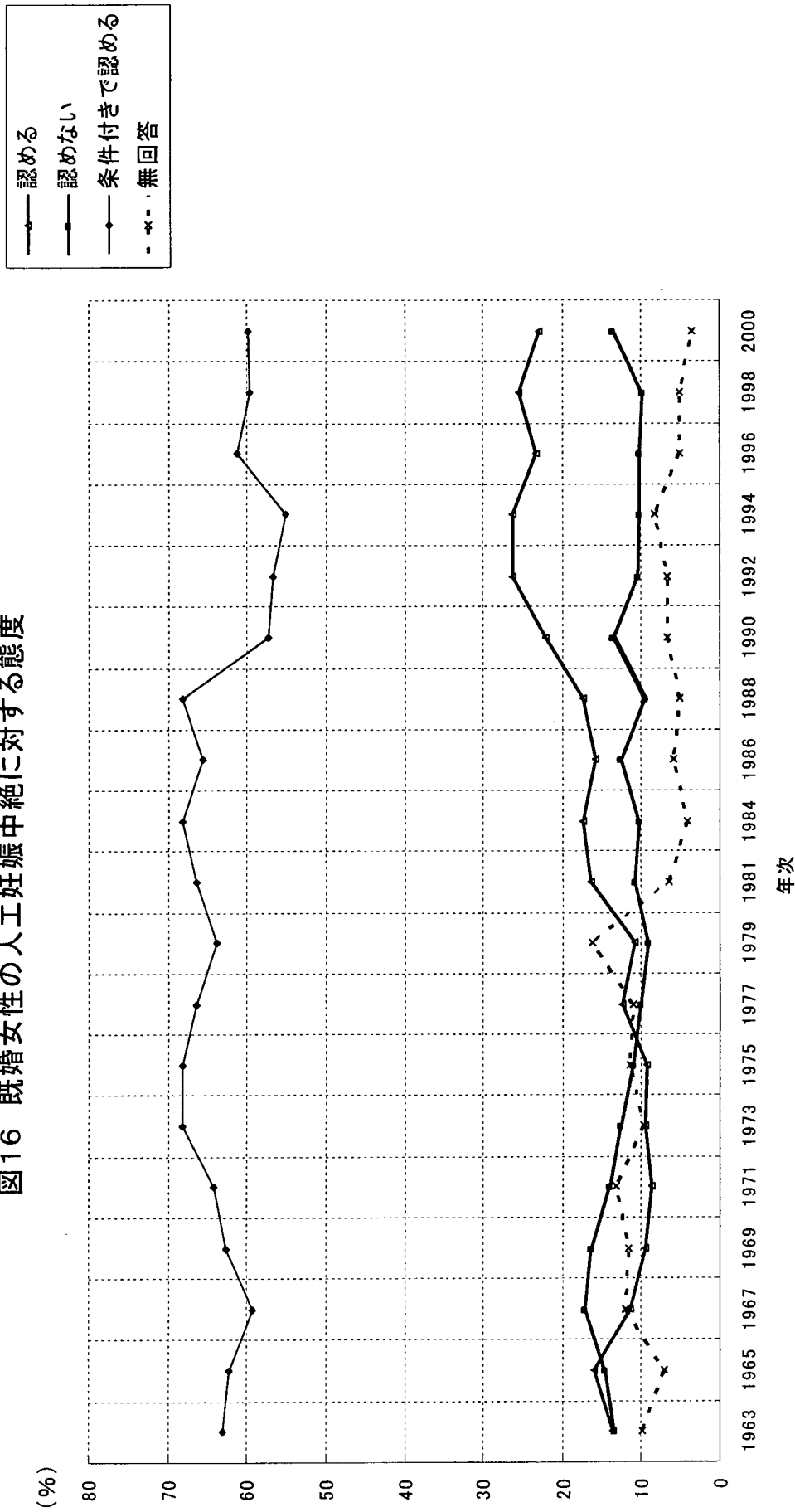
注：対象は満16～49歳の既婚者。「セックスレス」とは「この1ヶ月セックスがない」と回答した者。

図15 コンドームの国内出荷量



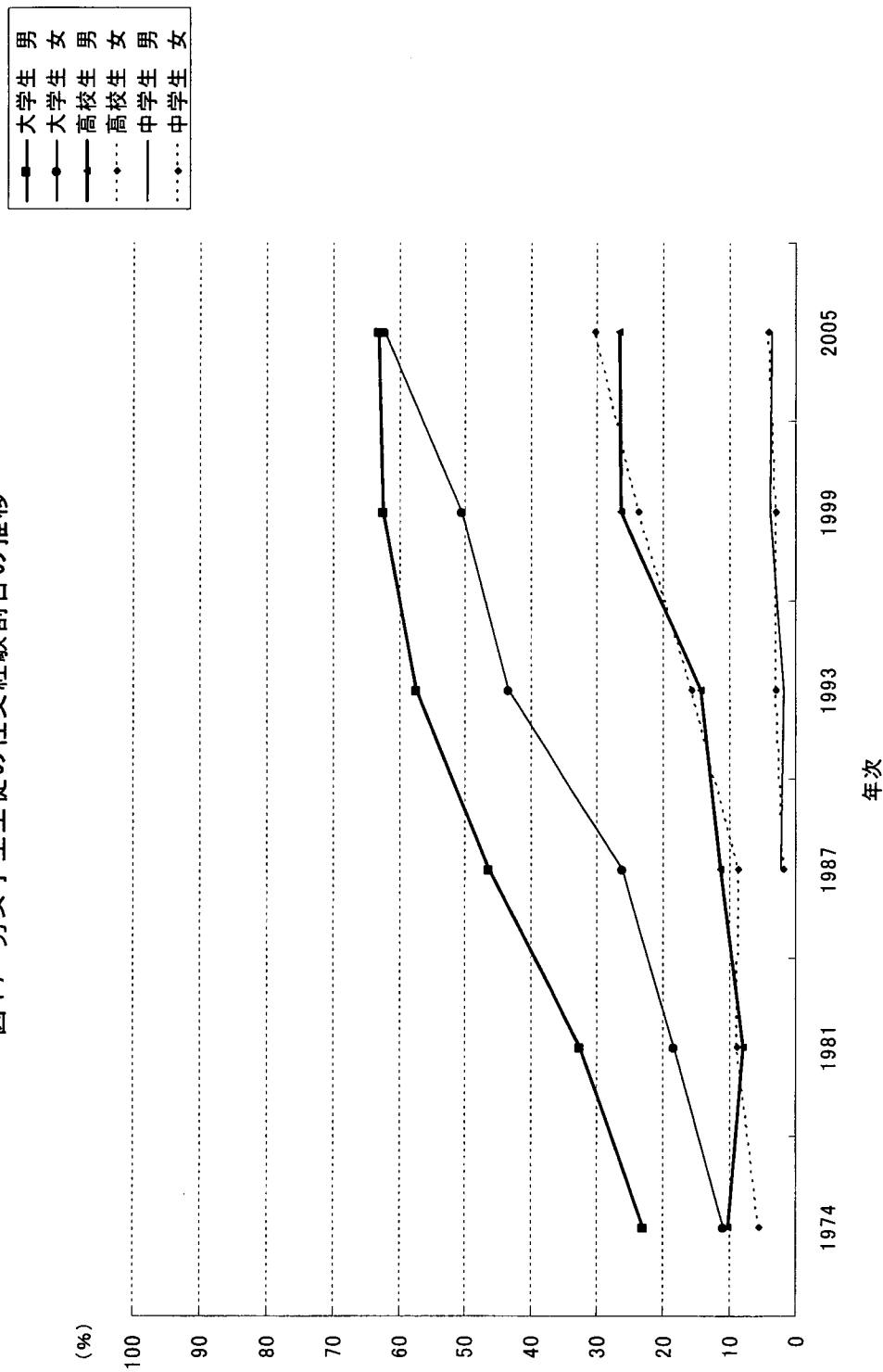
出所：厚生労働省医政局『業事工業生産動態統計年報』（各年）より作成。
注：1ダロス＝144個。

図16 既婚女性の人工妊娠中絶に対する態度



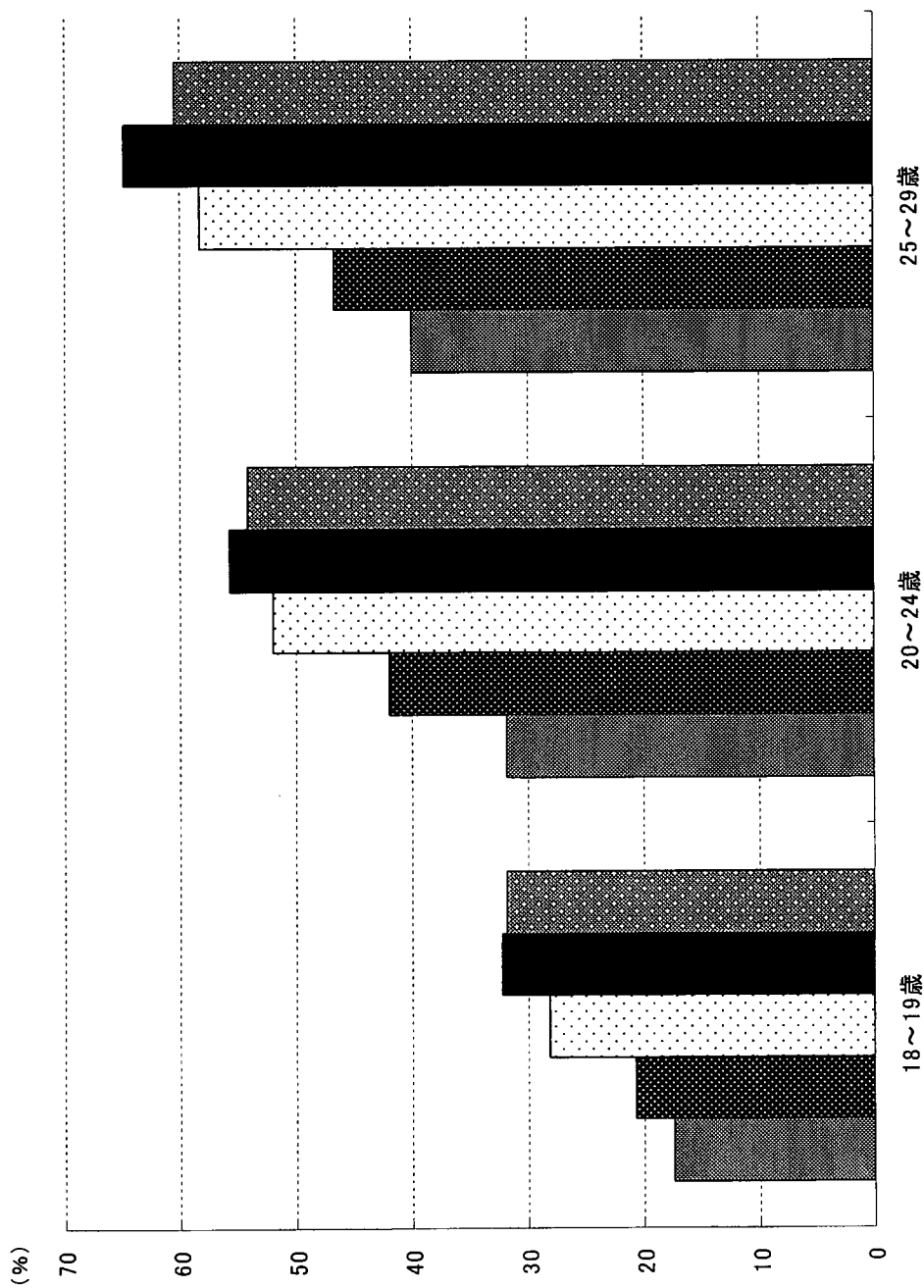
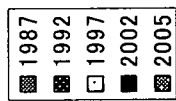
出所：毎日新聞社人口問題調査会『第7回～第25回全国家族計画世論調査』より作成。
 注：対象者は16歳以上50歳未満の既婚女性。

図17 男女学生生徒の性交経験割合の推移



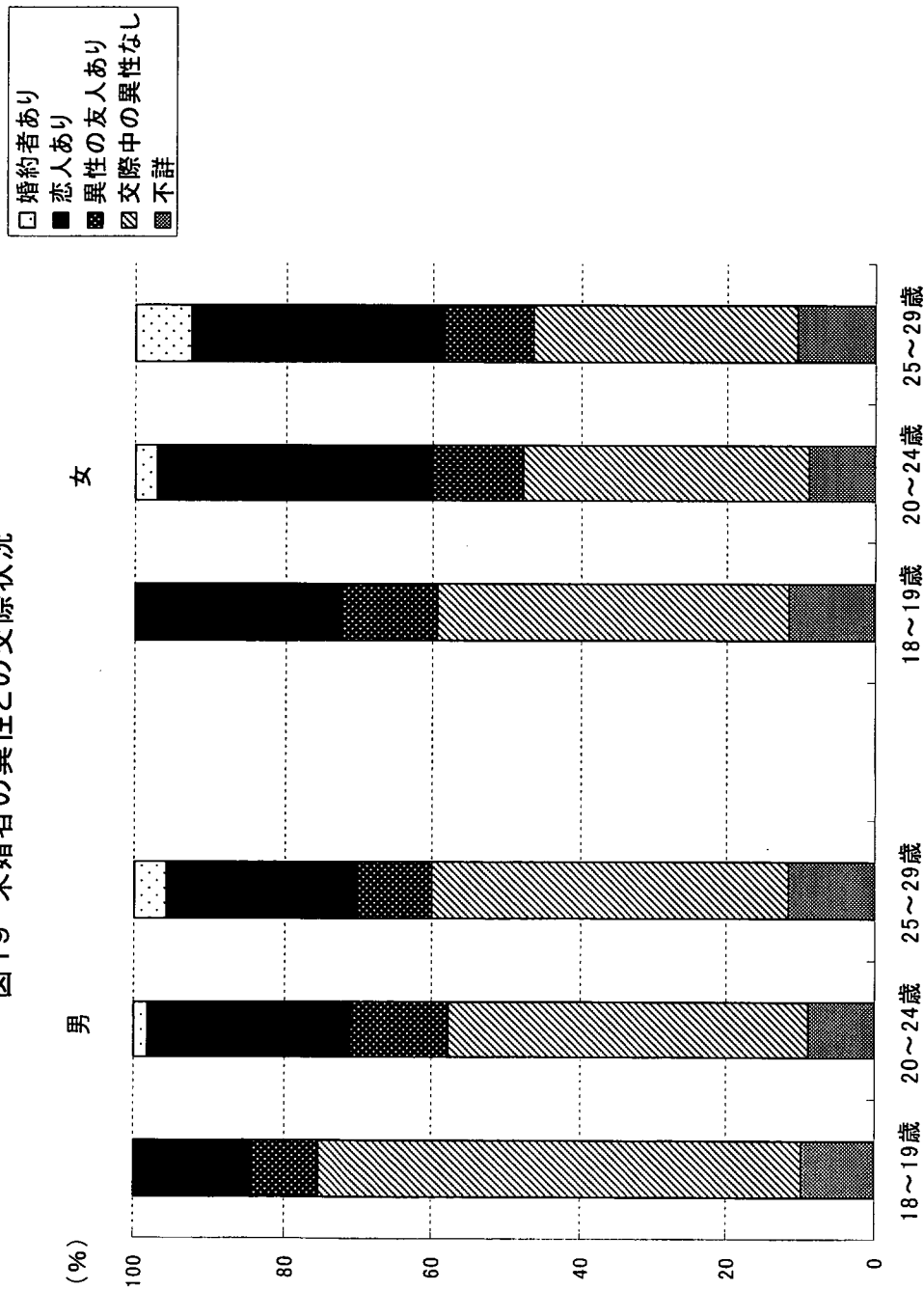
出所：日本性教育協会『青少年の性行動調査』(各回)より作成。

図18 未婚女性の性交経験割合



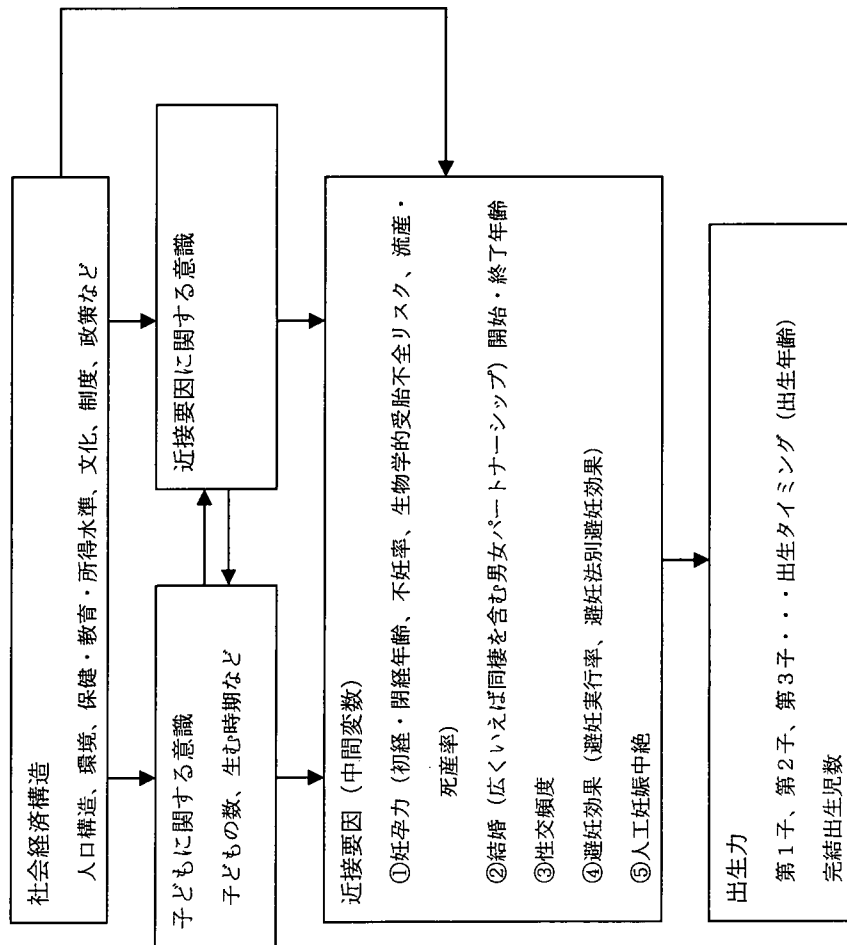
出所：国立社会保障・人口問題研究所『第9,10,11,12,13回出生動向基本調査』より作成。

図19 未婚者の異性との交際状況



出所：国立社会保障・人口問題研究所『第12回出生動向基本調査』（2002年）より作成。

図 20 出生力決定に関する人口学的説明モデル



(注)「意識」には、広く規範、価値観、知識、態度、理想・希望、選好、意図などを含む。
性交頻度と生物学的受胎不全リスクにより受胎確率が規定される。